

冬季の積極的な節電の協力のお願い ——神奈川の電力需給対策取組指針(2013年度冬季)の概要——

神奈川県では、東日本大震災以降、県民総ぐるみで節電に取り組んでいます。電力需要が増加する冬季(12月～3月)は、今シーズンも一層の節電が求められていることから、「電力需給対策取組指針」を策定しました。

ご家庭や事業所では、この指針を参考に、それぞれの状況に応じて効果的な節電に取り組んでいただくようお願いします。

なお、節電は、特に高齢者や乳幼児等に十分に配慮するほか、福祉施設や医療施設等では生活の質の維持を前提に取り組んでください。

1 節電の取組目標 (2013年度冬季<12月～3月>)

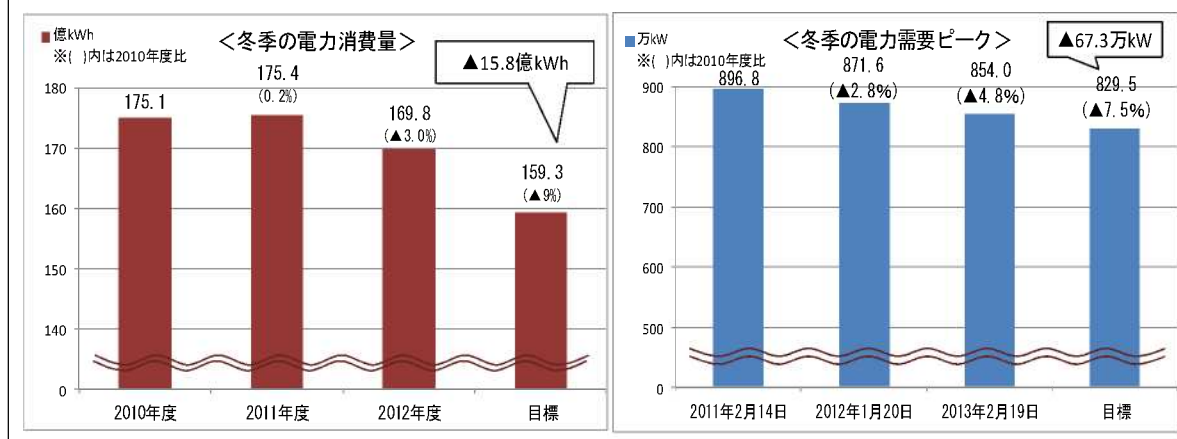
- 電力消費量は、2010年度冬季比で9%以上の削減を目指します。
(年間を通した電力消費量も、2010年度比で9%以上^(注1)を削減)

(注1) 「かながわスマートエネルギー構想」の省エネの取組目標(2009年度比で4%削減)とほぼ同水準の電力消費量を達成する削減率。

電力需要ピークは、東京電力管内の節電目安とされている、2010年度冬季比で7.5%以上^(注2)の削減を目安にします。

(注2) 国の「2013年度冬季の電力需給対策について」(2013年11月1日、電力需給に関する検討会合決定)で示された東京電力管内の節電目安の数値に準拠。

- 県内の冬季(12月～3月)の電力消費量と電力需要ピーク



2 取組期間

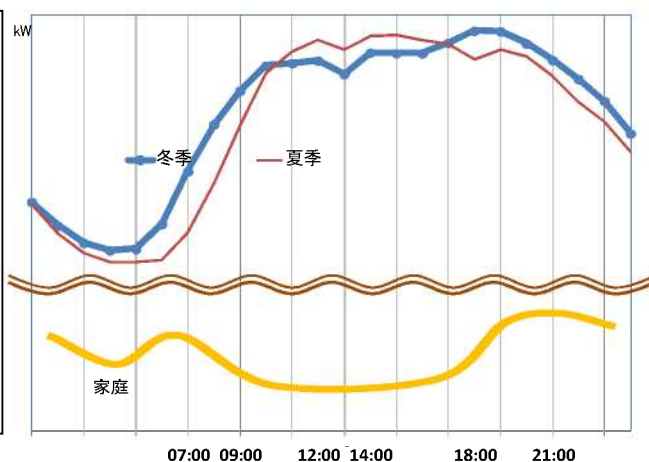
2013年12月1日(日)から2014年3月31日(月)まで

3 家庭・事業所への節電の呼びかけ

- 冬季の電力需要の特徴
 県内の冬季の電力需要ピークは、2011年度・2012年度には夏季の電力需要ピークを上回っています。
 冬場は、エアコン等の暖房や照明などにより、特に朝の時間帯と夕方から夜にかけての時間帯に電力需要が増加する傾向があります。

(参考)

- ①上の折れ線グラフ (2本)
 県内の2012年度の夏季 (赤色)・冬季 (青色)の電力需要ピーク日における電力需要の比較
- ②下の折れ線グラフ (黄色)
 家庭の冬季の一日の電力需要のイメージ



つきましては、ご家庭や事業所では次の取組例を参考に、一層の節電に努めていただくようお願いいたします。

【節電に向けた取組例】

	家庭	事業所
ア 節電の積極的な実践	・室温20℃設定 ・エアコンや電気ストーブ等の同時使用の回避 など	・室温19℃設定 ・空調の外気取入量の調整 (熱負荷等の低減) など
イ 節電相談・省エネ診断の活用	・節電相談等の活用	・省エネ相談・省エネ診断の活用
ウ 省エネ・創エネ設備の導入	・家庭用燃料電池(エネファーム) ・住宅用太陽光発電設備	・ガスコージェネレーションシステム ・事業所用太陽光発電設備
エ エネルギー管理の実施	・ホーム・エネルギー・マネジメント・システム(HEMS)の導入	・ビル・エネルギー・マネジメント・システム(BEMS)の導入

4 県施設における節電目標

県施設では、引き続き県全体よりも一段と高い目標を持って、節電に積極的に取り組みます。

(目標)

	県施設全体	うち庁舎系施設
電力消費量 (2010年度比)	▲10%以上 (夏季は同季比▲13%以上)	▲15%以上

(問い合わせ先)

【下記以外】

神奈川県産業労働局 産業・エネルギー部地域エネルギー課
 課長 山田 電話 045-210-4101
 調整グループ 武川 電話 045-210-4076

【3 ア、イ】

神奈川県環境農政局 環境部環境計画課
 課長 伊藤 電話 045-210-4050
 地球温暖化対策グループ 太田 電話 045-210-4053

【3 ウ、エ】

神奈川県産業労働局 産業・エネルギー部スマートエネルギー課
 課長 松浦 電話 045-210-4130
 スマート化グループ 城戸 電話 045-210-4115

【4】

神奈川県総務局 総務室
 企画調整担当課長 筒浦 電話 045-210-2121
 企画調整グループ 櫻山 電話 045-210-2128